

循環型地域内ビジネスネットワークの 育成に関する調査研究

2010年3月

福井県立大学地域経済研究所

はじめに

地域社会の活性化とは持続可能な持続性ある活動でなければならない。本報告でも事例として取り上げた広島県世羅町の地域活性化活動に見られるように、活動の主体が様々でそれらのビジネスが連携し合い、ネットワークを組んで活動している。いわゆる地域内の1～3次産業の連携である。これを同地では6次産業として展開し、すでに一般化したともいえる地域産業の方向を示す表現になっている。

多くの地方都市にある産業は農林水産業、食品加工業、流通業である。しかし、その各経営主体の連携は必ずしも十分ではない。地域の経営資源を活用し、生産から消費まで域内循環のネットワークが必要である。どこかの産業が参加できなければ地域内の循環が成立しない。女性、高齢者など多くの参加者を巻き込み、宿泊、観光、小売などにも連携を進めていくことが必要である。本報は持続性ある地域社会のあり方、裾野の広い連携型地域経済の構築について研究したものである。

これまでも地域活性化についてコミュニティビジネス、農産物の新たな流通システム、さらにそれらを発展させて交流ビジネスという表現で研究を進めてきた。地域活性化についての方法は主体となる組織の活性化と最終消費を見据えた販売ルートとマーケティングのへ「顧客の求める価値の提供」であることを確認した。顧客となる消費者とのリレーションシップが地域経済にとっても欠かせない視点であることが確認された。

本報告は、新たな事例研究に加え、これまでの研究をベースにまとめたものである。本報告が県内の地域活性化の一助となれば幸甚である。

2010年3月

研究代表 小川雅人

目 次

循環型地域内ビジネスネットワーク育成に関する調査研究の概要	1
第1章 循環型地域内ビジネスの意義と地域経済	2
1 循環型地域内ビジネスの意義	2
2 内発的発展と地域経済	3
第2章 社会システムと循環型地域内ビジネス	4
1 社会システムの概念	4
2 循環型地域内ビジネスの機能的部分システム	4
第3章 循環型地域内ビジネスと農産物加工と流通の活動事例	7
1 農産物の新たな販売システム構築に向けての課題	7
2 農業活性化の循環型地域内ビジネスネットワーク事例	8
①JA 沢田	8
②株式会社野菜クラブ	9
③協同商事株式会社	10
④日本ブランド農業事業協同組合	10
⑤事業組合法人アグリコ	11
3 課題の整理と方向性	12
4 まちづくりの循環型地域内ビジネスネットワーク事例	13
①福井県鯖江市	13
②徳島県上勝町	14
③神奈川県茅ヶ崎市	17
④広島県世羅町	20
⑤千葉県鴨川市	22
⑥茨城県水戸市	23
⑦千葉県茨城町	24
第4章 循環型地域内ビジネスネットワークを推進するための課題とポイント	25
1 循環型地域内ビジネスによるまちづくりを推進するための課題	25
2 循環型地域内ビジネスによるまちづくりのポイント	26
①地域の固有資源の活用	27
②生活を通じてのツーリズム	27
③マーケティングの志向が原点	27
④高齢者の参加が大きく発展の要	27
⑤小さな実践を積み重ねていく	28